

また、いわゆる精神保健福祉法の改正に伴い、精神保健福祉業務のうち在宅福祉サービスが市町村に移管されることとなりました。このため、現在、保健福祉センターで相談コーナーの設置に向けた準備を進めているところでありますが、四月からは精神障害者居宅生活支援事業や相談業務などを実施し、精神障害者への支援を充実させたいと考えております。

次に、放課後児童クラブについてであります。

全国的に進む少子化の傾向は本市においても同様であり、十数年後には、十四歳以下の生産年齢前人口の比率が十パーセント程度にまで減少するという推計も出されております。共働きの定着や核家族化の進行などによって子育てに

対する不安や負担が増大し、それが出生率低下の要因のひとつともいわれております。だれもが安心して子供を産み、育てられる環境をつくるためには、社会全体での支援が求められているところであります。昼間、保護者のいない小学校低学年の保育を行う放課後児童クラブにつきましては、これまでも地域や関係者の努力により環境の整備が進んできたところであります。平成十四年度の新学期中には、阿賀小学校区内の放課後児童クラブ「キッズクラブ」が地域学園内で活動できる環境を整える予定としております。また、第二小学校区でも、民意による放課後児童クラブの開設が予定されていると聞いているところであります。これらの運営に対し支援を行うとともに、一方では、子育て支



放課後も仲良く遊ぶぞ

援センターの開設により総合的な環境整備を推進してまいります。

次に、ボランティアの育成についてであります。

市民がより積極的にボランティア活動に参加し、また活動のネットワークを広げるための支援拠点として、「ボランティア支援センター（仮称）」の整備を検討して

まいったところであります。支援センターは、ボランティア活動に関する情報の収集・提供やボランティア組織相互の連携強化などによる、より広範な活動の支援を行うものであります。「癒しの福祉ゾーン」には四つの福祉施設のほか、海洋センター、グリーンセンターなどの施設が集積し、ふれあいと交流の拠点となりつつあります。都市と農村の交流の場であるグリーンセンターの役割をさらに発展させ、このゾーン全体の交流機能を一層強化するため、グリーンセンターに「ボランティア支援センター」の機能を盛り込み積極的な活用を図りたいと考えております。新年度はハードの整備を進めるとともに、運営に関する具体的な事項の検討を行い、平成十五年度の開設を目指してまいります。

精神障害者への支援事業

：464万円

精神障害者の生活支援や相談業務を行います。

放課後児童クラブ運営事業

：1135万円

放課後児童クラブへ運営の委託や補助を行います。

子育て支援センター運営事業

：1470万円

支援センターの運営をNPO法人へ委託します。

ボランティア支援センター（仮称）整備事業

：4666万円

ボランティアへの情報発信の拠点となる施設の整備を行います。

## ◀主な事業

バイオリサーチパーク構想推進関連事業

：1844万円

構想の準備委員会や中学校での生物科学体験学習、地域交流講座などの経費です。

商工会議所事業補助金

：500万円

「まちの駅ぽっぽ」の運営と商店街の企画事業などを支援します。

➡

## 3

## にぎわいと交流のまち

## 人が輝き活力のみなぎるまち

本市に限らず全国的な傾向として、個人消費の冷え込みや郊外の大形店などの影響により、市街地の商店街は厳しい状況に置かれているところであります。商店街のにぎわいをとり戻すために、これまでも商工会議所を通じて「まちの駅ぽっぽ」など商店街独自の企画事業を支援する一方で、低利率の制度融資の活用を周知するなど、商店街の活性化対策を進めて

きたところでありますが、引き続きこうした取り組みを継続してまいります。新年度では、二福商店街において児童・生徒にキャンパスとして店舗のシャッターを提供し、「にいつの昔話」や「SL」などを題材としたイベントを施し、イベントを企画していることから、この活動を支援したいと考えております。また、単協十商店街に対し、街路灯の電気料を助成

➡  
組んでまいりたいと思っております。

次に、農業についてであります。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しい情勢を余儀なくされていることはご承知のとおりであります。その土地に適した作物を生産し、それを地域で消費する、いわゆる「適地適作・地産地消」を進めることが大切であると考えているところであります。稲作中心の経営から、大豆や花き・花木生産など、地域の特性を生かした地域複合農業を進めるとともに、農地の基盤整備であります県営ほ場整備事業を、本年度から実施している満日地区に引き続き、新年度は両新地区においても着手することとしております。

生産調整につきましては、これまで皆さんの協力に対する各種支援措置を行ってきたところでありますが、こうした取り組みを継続するとともに、新年度からは、強い要望のありました転作田の水利用費用の負担軽減につきましても、新規に実施することいたしました。

また、昨年、米の品質が著しく低下したことを受け、関係機関と協力しながら品質向上のための取り組みを進めてまいりたいと考えております。

バイオ技術の急速な進展は農業の分野にも及んでおり、今後、循



地域の特性を生かした農業へ

環境社会における新たな産業として、農業が担う役割に大きな期待を寄せているところであります。

次にボランティア支援バスについてであります。

ボランティア支援バスについては、昨年度の七月から試験運行を開始し、本年度は年間を通じて試験運行を行ってきたところでありますが、利用率、利用者層並びに利用区間など基礎的データの収集はなされたものと思っております。その結果、利用者層や利用区間が偏在しており、こうした区間については既存の公共交通によってほとんどカバーできる状況にあることから、本年度をもって試験運行を終了したいと思っております。しかし一方で、高齢者などにとって交通空白地帯があることも認識しているところであります。今後、単なる代替交通手段ということではなく、公共交通を活用しながら市全体の生活交通を確保す

るためにどのような方策がよいのか、行政としての関わりを含め、地域コミュニティと絡めながら検討してまいりたいと考えております。同時に、より効率的な公共交通の利用を促すとともに、公共交通の事業者に対してさらにサービスの向上を働きかけてまいりたいと思っております。

次に、地域コミュニティの育成についてであります。

地域に住む皆さんが主役となり、自発的な行動を通じ、人々とのつながりを深め、地域に対する誇りと愛着を育てる地域コミュニティは、まちづくりの基本であると認識しております。

豊かな発想で地域の特性を生かした市民の自主的な活動に対して支援する「地域づくり活動助成事業」において、新年度はより多くのコミュニティ活動を支援したいと考えております。また、コミュニティ活動の拠点となる地域の集会所の建設につきましても、引き続き助成をしてまいりたいと考えております。地域の皆さんの自発的な活動がさらに活発に展開されることの一助になればと思っております。

次に情報化社会への対応であります。

市内の公共施設、小中学校を光ファイバーケーブルで結び、大容

量の情報受発信を可能とする地域イントラネット基盤整備が本年度完了いたしました。これにより、小中学校のパソコンを使った教育環境の向上と、最寄りの公共施設において行政情報を提供する環境が整ったところであります。新年度からは、イントラネットによる生活に密着した有用な情報を提供できるよう市のホームページのリニューアルや、相談業務への活用による行政サービス向上など、地域イントラネット基盤を活用した行政情報の提供体制の整備に努めてまいります。

一方で、こうした情報化は危機管理の視点から、非常時において市民とのコミュニケーションを図る手段として活用がなされるべきものと思っております。即時性、同報性、記録性、双方向性、共有性などの特徴を生かし、既存のメディアと併せて活用することで大きな威力を発揮するものと思っております。ネットワーク社会における情報活用の仕方は多様であり、今後、様々な活用手法について研究してまいりたいと思っております。

また、全国の自治体で準備を進めております住民基本台帳ネットワークシステムが平成十五年八月の本格運用開始を予定していることから、これに向けて、新年度においてシステム整備を推進してまいります。

商店街活性化事業

：30万円

二福商店街のシャッターイベント事業を補助します。

県営ほ場整備事業

：2869万円

満日地区と両新地区のほ場整備に対して事業費を負担します。

生産調整関連事業

：5527万円

生産調整の実施に關して、達成補助金や転作田土地改良水利用軽減補助金などを交付します。

地域農業システム確立農地集積事業

：209万円

認定農業者への農地集積を促進するため、農作業委託などを行った農家へ助成します。

路線バス関連事業

：190万円

公共交通である路線バスの運行経費を負担します。

地域づくり活動助成金

：700万円

自治会などの自主的な地域づくり事業を補助します。

住民基本台帳ネットワーク事業

：1867万円

住民基本台帳システムと全国ネットワークを接続するため、機器設置とシステム改修を行います。